

3. 千葉県都市づくりビジョン

3. 千葉県都市づくりビジョン

千葉県都市づくりビジョン

(令和5(2023)年6月)



←左のQRコードを読み取ると千葉県都市づくりビジョンのリンクへ

1. 都市づくりビジョンの目的と位置づけ

社会経済情勢が大きく変化している状況を踏まえ、令和7年度(2025)を目途に「都市計画区域マスタープラン」の見直しを進めています。

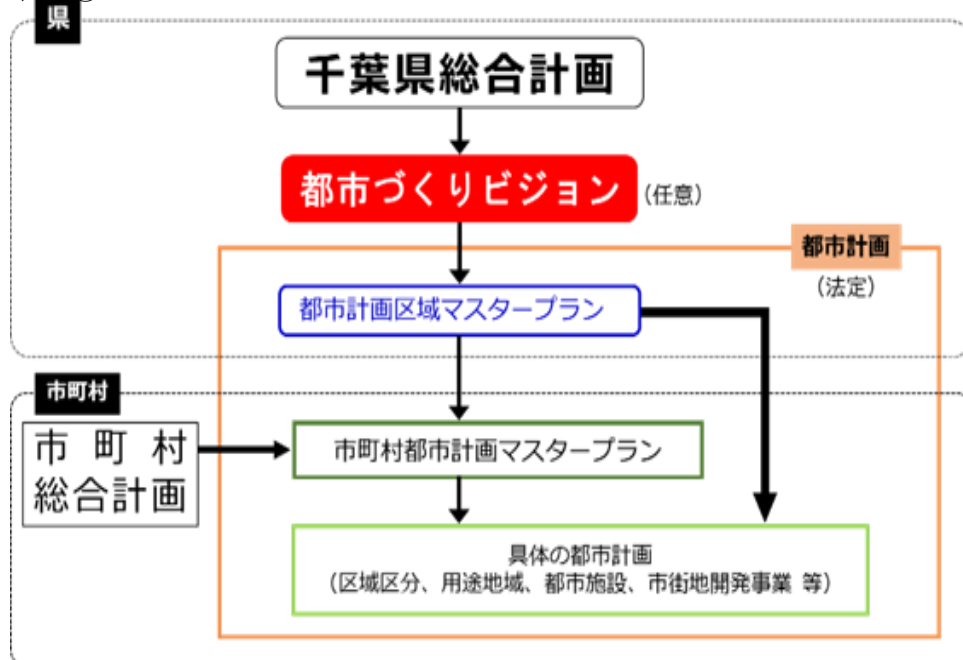
都市計画区域マスタープランの見直しにあたっては、広域道路ネットワークの整備進展、生活圏や経済圏の拡大及び激甚化・頻発化する自然災害などに対応するため、これまで以上に広域的な視点が重要となります。

本ビジョンは、都市計画区域マスタープランの見直しに向けて、広域自治体として、概ね30年先を見据え、現行の都市計画区域の枠にとどまらず県土全体を対象とし、広域的な視点から将来の本県の都市の姿を描き、県民の暮らしや仕事、産業等の基盤となる都市づくりの方向性や方針を示すことを目的としています。

本ビジョンの位置づけは、下図に示すとおり「千葉県総合計画」と都市計画の上位計画である「都市計画区域マスタープラン」とをつなぐ任意の計画となります。(図-③-1)

県では、都市計画区域マスタープランの見直し等においても、本ビジョンを活用していきます。

図-③-1



3. 千葉県都市づくりビジョン

2. 都市づくりビジョンの概要

(1) 策定の背景と必要性

人口減少という都市づくりの大きな転換期を迎え、社会経済情勢の変化、地球規模の環境問題・災害への対応、県内の地域格差及び県民の価値観の多様化などを踏まえ、新たな視点での都市づくりの目標と方向性を示すことが必要となっています。

県民の生活圏や経済圏の拡大、高速道路を始めとする広域的な道路ネットワーク整備の進展などにより広域的な視点が必要となっており、また、現在、県内の都市計画区域が概ね市町村ごとに指定されているため、隣接する市町村間で都市計画道路や土地利用の不整合等が生じているなど、市町村の行政区域を越えた広域的な視点での都市づくりが、これまで以上に求められています。

地方分権により基礎自治体である市町村への権限移譲が進む中、県は広域自治体として長期的かつ広域的な視点に立った政策及び市町村間における都市計画などの調整を担うとともに、本県の都市づくりがより良い方向へ進むよう、県・市町村・県民・企業等が一体となって、共有すべき都市づくりの方向性を示すことが必要となっています。

■ 構 造

人口減少高齢化の進行による都市・集落機能の低下及びスプロール化

■ 安全・安心

自然災害の激甚化・頻発化への対応、防犯・交通安全への対応

■ 暮 ら し

新型コロナウイルス感染症を契機とした働き方や暮らし方の変化への対応

■ 産 業

新たな産業用地の確保と産業のイノベーション

■ 環 境

脱炭素、循環型社会の実現、緑の保全・創出、グリーンインフラの活用

■ マネジメント

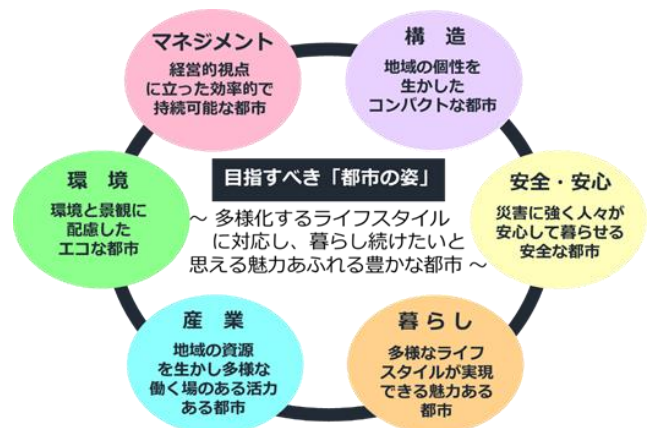
効率的なインフラの維持管理、デジタル技術の活用

(2) 都市づくりの課題の整理

ビジョンでは、県民の生活、都市の構造及び経営に着目し、「構造」「安全・安心」「暮らし」「産業」「環境」「マネジメント」の6つの視点から、都市づくりの課題を整理することになります。

(3) 目指すべき「都市の姿」

人々の多様化する価値観やライフスタイルに対応した千葉県らしい魅力ある豊かな都市づくりを進めていくため、本県の目指すべき「都市の姿」を掲げ、その実現に向けた新たな都市づくりに取り組んでいきます。



(4) 都市づくりの目標と方向性

■ 構 造

【目標】地域の個性を生かしたコンパクトな都市

方向性 01 多様な拠点を持つコンパクトな都市づくり

方向性 02 拠点をつなぐネットワークづくり



3. 千葉県都市づくりビジョン

■安全・安心

【目標】災害に強く人々が安心して暮らせる安全な都市

方向性 03 地震・風水害など災害に強い安全な都市づくり



■暮らし

【目標】多様なライフスタイルが実現できる魅力ある都市

方向性 04 多様なライフスタイルが実現でき、人にやさしい都市づくり

方向性 05 空き家や空き施設を再生し、賑わいのある都市づくり



■産業

【目標】地域の資源を生かし多様な働く場のある活力ある都市

方向性 06 多様な産業が成長する都市づくり



■環境

【目標】環境と景観に配慮したエコな都市

方向性 07 カーボンニュートラルに取り組む都市づくり

方向性 08 身近な緑や景観を守り育む都市づくり



■マネジメント

【目標】経営的視点に立った効率的で持続可能な都市

方向性 09 都市経営の視点に立った官民連携による持続可能な都市づくり

方向性 10 ICT等の新技術を生かした豊かで便利なスマートな都市づくり



(5) 広域な都市づくりの視点

- ア 成田空港等の国際拠点を生かした拠点の形成
- イ 広域道路ネットワーク等の構築
- ウ 広域道路ネットワークを生かしたインターチェンジ周辺等の産業の受け皿づくり
- エ 流域治水等の広域的な防災・減災対策
- オ カーボンニュートラルな都市づくり
- カ 広域的な視点に立った土地利用
- キ 公共施設等の広域化・共同化と効率的な都市経営

3. 千葉県都市づくりビジョン

(6) 今後の都市づくりを支える取組

- ア 広域的な視点に立ったマスタープランの策定
 - (ア) 複数市町村を圏域とする広域的な視点に立ったマスタープランの策定
- イ DXを活用した都市づくりの見える化と情報発信
 - (ア) 3D都市モデル等を用いた都市づくりの「見える化」の推進。
 - (イ) 都市の「見える化」なども取り入れながら、住民参加型の都市づくり活動を推進。
- ウ 産業・環境・健康福祉・防災分野等との施策の連携
 - (ア) 人口減少・高齢化、頻発・激甚化する自然災害など、都市づくりの課題解決には、多様な分野の視点で検討することが重要。
 - (イ) 関係する産業等の施策との連携を図るなど、多角的な知見・見識を取り入れながら、都市の課題に対応する施策を検討。
- エ ICT・AI等の新技術の導入・社会実験の推進
 - (ア) 新技術の社会実験の促進と情報の発信を進め、地域における生活利便性の格差を解消。
 - (イ) 経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会である Society5.0 の実現。
- オ 産・官・学・民の連携と民間活力の導入
 - (ア) 「産・官・学・民」連携やエリアマネジメントなどを促進するための連携の場・組織づくりを推進し、地域と多様に関わる人々を増やすことが必要
 - (イ) 民間による着実な経営等による魅力的なデザイン、Park-PFI 事業などを積極的に生かした都市づくりの推進。
- カ 県民参加や子どもたちの都市づくりを学ぶ機会・場の提供
 - (ア) 各地域における今後の都市づくりを考える機会の提供と県民参加の促進。
 - (イ) 「都市づくりを学ぶ場」の提供等による、

子どもたちの都市づくりに対する関心を高める取組の支援。

- キ 広域的連携を行う場づくりと市町村の都市づくり支援の推進
 - (ア) 広域的な視点に立った都市づくりの実現には、これまで以上に県・市町村の連携が不可欠。
 - (イ) 県内における都市づくりに関する課題や問題について研究する場や広域的な視点に立ったマスタープランを検討する場を設けるなど、広域的な連携の推進。
 - (ウ) 市町村が抱えている都市づくりの課題に対する技術的なアドバイス。